

平成29年度 事務事業評価シート

<b>事務事業名</b>		<b>学力向上プラン「大学生が先生」</b>					所管	教育委員会 指導課	
<b>事務事業の概要</b>	行政計画	事業NO.	214	計画事業名	児童・生徒の学力向上			事業の開始・終了年度	
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進 [施策] ①個性を生かす学校教育の充実					[事業開始]		平成15年度
	根拠法令等	その他	[法令等名]	学力向上プラン「大学生が先生」事業の実施について、理科支援員配置事業実施要綱				[終了予定]	- 年度
	事業対象	台東区立小・中学校児童・生徒							
	事業目的	児童・生徒の学習意欲を高め、基礎的な学力の向上を通して楽しく学ぶ習慣を身につけさせる。							
	事業内容	<p>教員を志望する大学生等のボランティア指導者を活用し、区立小・中学校の各教科の授業等で、教員の補助として学習指導を行う。また、理科教育に関心の高い者を理科支援員として小学校に派遣し、小学校理科教育に活用する。 (指導方法)習熟度別学習・少人数授業・授業以外での補充的個別指導 理科における観察・実験などの支援、準備、後片付けなど</p>							
	委託の有無	なし	委託内容						
	補助金の有無	国・都							
<b>事務事業の実績</b>	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	指導補助者採用者数	(人)	120	132	118	110		
		理科支援員配置校数	(校)	15	8	10	13		
	成果指標	指導補助者派遣日数	(日)	2,300	2,293	2,208	2,111		
		理科支援員派遣回数	(回)	250	230	200	224		
	決算額 (単位：千円)				8,323	8,114	7,891		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			680	802	892		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			297	410	439		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			8,027	7,704	7,453		
		総経費			9,004	8,916	8,784		
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			369	696	742			
	一般財源(区負担額)			8,635	8,220	8,042			
前回評価から改善した事項	実施計画に基づき派遣日数・時数の配当を行っているが、年度途中で執行予定調査をし、学校のニーズに弾力的に対応した。								
<b>評価の視点</b>	評価	評価の理由							
	必要性	4	教育現場で教職員の目が行き届きにくい細部のフォローなどで成果を上げており、机間巡視・指導により授業の規律にも一定の効果あげている。さらに、基礎学力に課題がある児童生徒のために行う放課後学習指導の効果的な実施にも寄与しており、活用を広げていくニーズは高い。						
	効率性	3	有償ボランティア事業のため最少のコストで実施されている。派遣者にとっては教育現場体験ができるメリットがあり、学校では教職員のフォローの役割を担うため、互いの利害が一致している。						
	手段の適切性	3	当初計画を重視した実施方針で執行管理をおこなっているが学校事情によって計画変更をするなど柔軟な対応が必要なケースもある。						
	目的達成度	2	派遣対象校からの年度当初の実施計画に基づいた日数の派遣をしているが、全国学力調査の結果、全国平均に届いていない教科もある。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)				評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
教育現場で教職員の目が行き届きにくい細部へのフォローや気づきの発見といった成果が出ている。各校からも派遣要望の声が大きい事業であるが、全国学力調査の結果、全国平均に届いていない教科もある。各校と学力向上につながる効果的な活用方法について情報交換をしながら継続して実施していく。					改善				